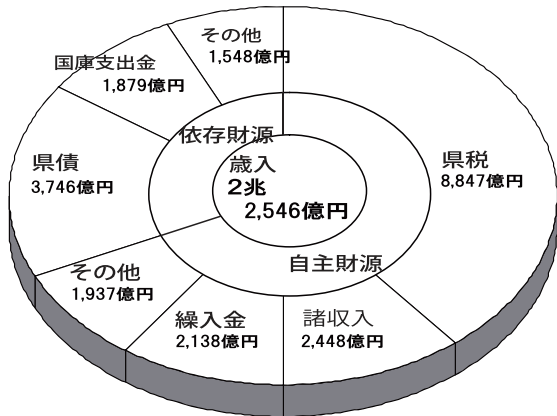


平成24年度
当初予算

税収不足・県債依存体質の改善が課題

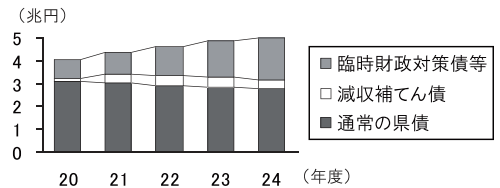
一般会計予算
2兆2546億円

平成24年度の予算を審議する2月議会が2月20日～3月23日の会期で開催され、予算をはじめ関連条例などの審議を行いました。東日本大震災の影響や超円高による企業業績の悪化に伴い、平成23年度に引き続き厳しい県税収入となるなか、予算編成での1,845億円の収支不足を、行財政改革や職員の給与抑制、県債発行、基金の取り崩しなどの緊急避難的措置によって何とか乗り切ったという予算の内訳となりました。



■県債残高5兆円に迫る勢い

県税収入が見込めないなか、県債発行残高は4兆9994億円と5兆円に迫りました。県民一人当たりの県債残高も70万円弱になり、行財政改革の更なる推進と、自主財源確保が急務な課題です。



■平成24年度の主な事業

I. 産業空洞化対策の推進

喫緊の課題である産業空洞化対策を推進するため、新たに「産業空洞化対策減税基金」を造成。

- ①大規模投資案件の誘致 (補助限度額：100億円)
- ②中小規模の投資案件への支援 (補助限度額：10億円)
- ③研究開発・実証実験への支援 (補助限度額：2億円)



II. 大規模地震対策の推進

東日本大震災を踏まえ、本県の災害対応力を検証するとともに、3連動地震を想定した被害予測調査を引き続き実施。



年度	被害予測調査 《被害予測調査検討委員会》	災害対応力の検証 《愛知県防災会議地震部会》
23年度	・地盤調査等データ収集 ・災害対応力の現状把握	・東日本大震災の検証
24年度	・被害の予測 ・災害シナリオの作成	・災害対応力の検証 ・地震防災対策のまとめ
25年度	・地震防災対策の最終とりまとめ ・公表 (6月予定)	

III. 子育て家庭を応援

安心して子どもを生み育てることができるよう、様々な取り組みを推進。



- ①小児・周産期等医療体制の構築
- ②待機児童解消に向けた取り組み
- ③延長保育・放課後児童クラブ運営等への助成
- ④私立学校に対する助成等の実施

IV. リニアインパクトを活用した地域づくり

平成39年リニア中央新幹線開業を見据え、今後の地域づくりにおける検討課題を整理。



開業予定年度	平成39年	平成57年
開業区間	東京-名古屋	東京-大阪
所要時間	リニア	40分
	新幹線	89分
建設費	5兆4,300億円	9兆300億円

V. 地球温暖化防止対策の実施

CO2排出量を削減し、地球温暖化を防止するため、新たな戦略に基づき、各種取り組みを実施。

- ①電気自動車&PHV車の自動車税を5年度分免除
- ②住宅用太陽光発電施設導入経費を助成
- ③森林整備と県産木材利用を促進

